

【公報種別】特許法第 17 条の 2 の規定による補正の掲載

【部門区分】第 6 部門第 2 区分

【発行日】平成27年10月8日 (2015.10.8)

【公開番号】特開2014-44267(P2014-44267A)

【公開日】平成26年3月13日 (2014.3.13)

【年通号数】公開・登録公報2014-013

【出願番号】特願2012-185766(P2012-185766)

【国際特許分類】

G 0 3 B 7/28 (2006.01)

H 0 4 N 5/235 (2006.01)

【F I】

G 0 3 B 7/28

H 0 4 N 5/235

【手続補正書】

【提出日】平成27年8月18日 (2015.8.18)

【手続補正 1】

【補正対象書類名】特許請求の範囲

【補正対象項目名】全文

【補正方法】変更

【補正の内容】

【特許請求の範囲】

【請求項 1】

被写体像を撮像して画像データを出力する撮像手段と、
前記画像データから第 1 の測光値及び前記第 1 の測光値とは異なる第 2 の測光値を取得する測光値取得手段と、

前記測光値取得手段により取得される第 1 の測光値が目標値に近づくように露出を変更する露出変更手段と、を備え、

前記露出変更手段は、前記第 1 の測光値、前記目標値及び前記第 2 の測光値に基づいて第 3 の測光値を算出し、前記第 3 の測光値と基準値との差分に応じて露出を補正することを特徴とする撮像装置。

【請求項 2】

前記露出変更手段は、前記第 3 の測光値と前記基準値との差分に応じて前記第 1 の測光値と前記目標値との差分を補正して露出を補正することを特徴とする請求項 1 に記載の撮像装置。

【請求項 3】

前記露出変更手段は、前記第 3 の測光値と前記基準値との差分に応じて前記第 1 の測光値を補正して前記第 1 の測光値と前記目標値との差分を補正することを特徴とする請求項 2 に記載の撮像装置。

【請求項 4】

前記露出変更手段は、前記第 3 の測光値と前記基準値との差分に応じて前記目標値を補正して前記第 1 の測光値と前記目標値との差分を補正することを特徴とする請求項 2 に記載の撮像装置。

【請求項 5】

前記露出変更手段は、前記第 3 の測光値と前記基準値との差分が大きいほど露出の補正量を大きくすることを特徴とする請求項 1 ないし 4 のいずれか 1 項に記載の撮像装置。

【請求項 6】

前記露出変更手段は、前記第 3 の測光値が上限値より大きい場合、当該上限値と前記基準値との差分に応じて露出を補正することを特徴とする請求項 1 ないし 5 のいずれか 1 項

に記載の撮像装置。

【請求項 7】

前記露出変更手段は、前記第 3 の測光値が前記基準値より大きい場合、露出を低く補正し、前記第 3 の測光値が前記基準値より大きくない場合、露出を補正しないことを特徴とする請求項 1 ないし 6 のいずれか 1 項に記載の撮像装置。

【請求項 8】

前記露出変更手段は、前記第 1 の測光値と前記目標値との差分に基づいて、1 フィールドで変更する露出の量を表す露出変更量を決定することを特徴とする請求項 1 ないし 7 のいずれか 1 項に記載の撮像装置。

【請求項 9】

前記露出変更手段は、前記第 3 の測光値と基準値との差分に応じた補正が反映された前記第 1 の測光値と前記目標値との差分に基づいて、1 フィールドで変更する露出の量を表す露出変更量を決定することを特徴とする請求項 8 に記載の撮像装置。

【請求項 10】

前記第 3 の測光値は、前記第 1 の測光値に対する前記目標値の比と前記第 2 の測光値とを乗じた値であることを特徴とする請求項 1 ないし 9 のいずれか 1 項に記載の撮像装置。

【請求項 11】

前記第 2 の測光値は、高輝度領域に関する測光値であることを特徴とする請求項 1 ないし 10 のいずれか 1 項に記載の撮像装置。

【請求項 12】

連続して複数の撮像を行い複数の画像データを取得する撮像手段と、
分割された複数の測光領域の測光結果に基づく第 1 の測光値と、前記複数の測光領域のうちの高輝度領域の測光結果に基づく、前記第 1 の測光値とは異なる第 2 の測光値と、を
取得する測光値取得手段と、

連続して複数の撮像を行う期間中に前記測光値取得手段により取得される第 1 の測光値が目標値に近づくように露出を変更する露出変更手段と、を備え、

前記露出変更手段は、前記第 1 の測光値、前記目標値及び前記第 2 の測光値に基づいて露出を補正することを特徴とする撮像装置。

【請求項 13】

被写体像を撮像して画像データを出力する撮像手段を有する撮像装置の制御方法であって、

前記画像データから第 1 の測光値及び前記第 1 の測光値とは異なる第 2 の測光値を取得する測光値取得ステップと、

前記第 1 の測光値が目標値に近づくように露出を変更する露出変更ステップと、を備え、

前記露出変更ステップは、前記第 1 の測光値、前記目標値及び前記第 2 の測光値に基づいて第 3 の測光値を算出し、前記第 3 の測光値と基準値との差分に応じて露出を補正することを特徴とする撮像装置の制御方法。

【請求項 14】

連続して複数の撮像を行い複数の画像データを取得する撮像手段を有する撮像装置の制御方法であって、

分割された複数の測光領域の測光結果に基づく第 1 の測光値と、前記複数の測光領域のうちの高輝度領域の測光結果に基づく、前記第 1 の測光値とは異なる第 2 の測光値と、を
取得する測光値取得ステップと、

連続して複数の撮像を行う期間中に前記測光値取得ステップで取得される第 1 の測光値が目標値に近づくように露出を変更する露出変更ステップと、を備え、

前記露出変更ステップは、前記第 1 の測光値、前記目標値及び前記第 2 の測光値に基づいて露出を補正することを特徴とする撮像装置の制御方法。

【手続補正 2】

【補正対象書類名】明細書

【補正対象項目名】 0 0 0 8

【補正方法】 変更

【補正の内容】

【 0 0 0 8 】

本発明に係わる撮像装置は、被写体像を撮像して画像データを出力する撮像手段と、前記画像データから第 1 の測光値及び前記第 1 の測光値とは異なる第 2 の測光値を取得する測光値取得手段と、前記測光値取得手段により取得される第 1 の測光値が目標値に近づくように露出を変更する露出変更手段と、を備え、前記露出変更手段は、前記第 1 の測光値、前記目標値及び前記第 2 の測光値に基づいて第 3 の測光値を算出し、前記第 3 の測光値と基準値との差分に応じて露出を補正することを特徴とする。